

地域協働研究会COCOSとは、地域の方々との話し合いの中で、地域が抱える課題を見つけ、解決を目指して活動をすることで地域を盛り上げる団体です。



①いみず学生アイデアコンテスト

いみず学生アイデアコンテストは、学生が射水市の地域課題に挑戦し、解決アイデアの提案や実証を行う取り組みです。COCOSもこの企画に参加し、地域の現場に向き合いながら主体性や課題解決力を育みました。

▶【活動目的】

- 「もう一度訪れたくなる海老江海浜公園」にする!!
上記達成のために、
1. 美しい景観づくり(海岸のゴミを減らす・捨てさせない)
2. 満足度の向上(親しみ・楽しさ)
この2つの観点から4つの企画を実施した

▶【実施内容】

8月9日、8月10日(雨天中止)

ビーチクリーン

ゴミと景品を交換する仕組みや、ゴミの重さ当てクイズを実施!!



ワークショップ

子供向けのアクアリウム作り体験

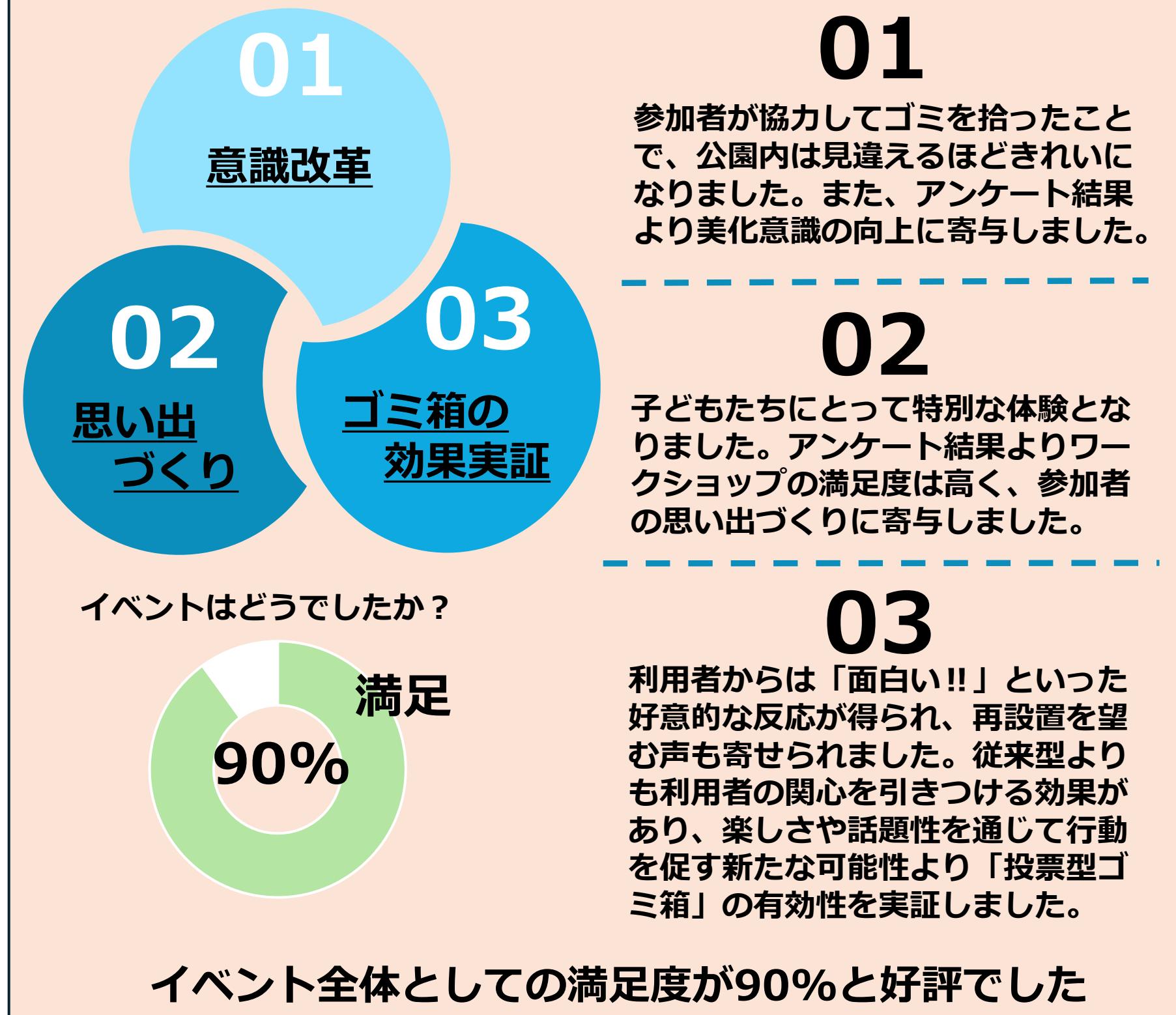
ゴミ箱の設置

捨てることが楽しくなる「投票型ゴミ箱」を試験設置

アンケート調査の実施

各企画の満足度などに関するアンケートを実施

▶【取り組んだ成果】



②太閤山アスレチック

本活動は、アドベンチャーガーデン射水と協働し、令和7年度「県民公園にぎわい創出プラン」に採択された取り組みです。

クイズラリーやフォトコンテストを通じて体験価値を高め、太閤山ランドのにぎわい創出に貢献しました。さらに体験会の実施により施設利用を促進し、これらの取り組み全体として地域活性化にもつながりました。

▶【活動目的】

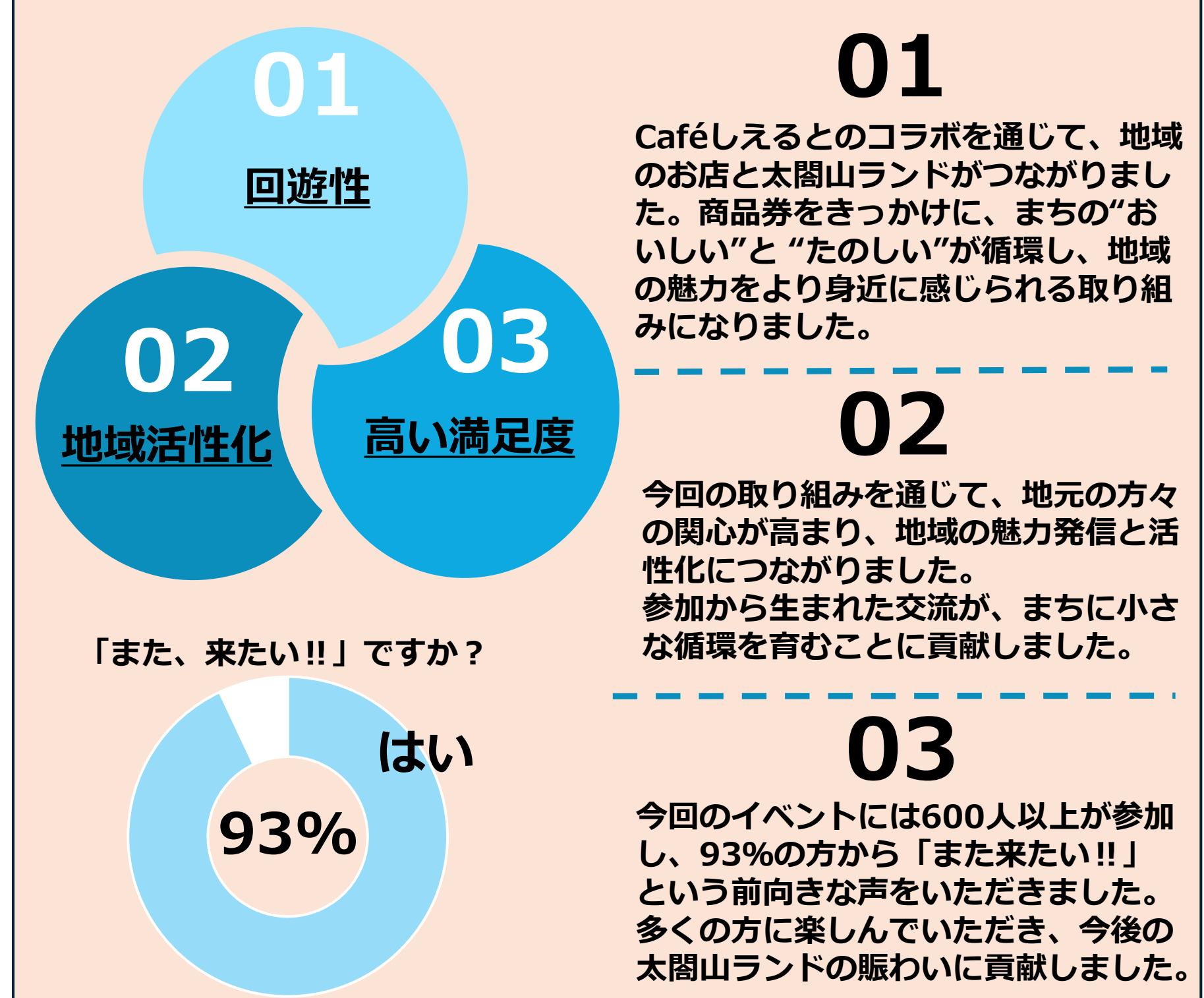
- “また来たい!!”を生む夏休みイベント
体験型イベントを通じて、施設の利用促進と地域活性化につなげる
「また来たい!!」を創出
リピーター増加で太閤山ランドが賑わう!!

▶【実施内容】

7月25日～8月31日

- クイズラリー
アスレチック施設を巡ってクイズに挑戦!!
フォトコンテスト
体験した様子の写真をInstagramで募集し、優秀作品に賞品(Cafeしえるの商品券など)を贈呈
アスレチック体験会
体験会を開催し、ジップラインについての認知度向上へ

▶【取り組んだ成果】



③Cafeしえるとの協働

COCOSは、射水市の飲食店「Cafeしえる」と協働し、障がい児・障がい者支援を広く知ってもらうための企画を行っています。Cafeしえるは、NPO法人プラスワンの就労継続支援B型事業所「えみふる」が運営しているお店です。

▶【活動目的】

障がい児・障がい者支援を広く知ってもらう!!

上記達成のために 2つの目的で弁当販売を開催!!

1. ニーズ把握による満足度向上

アンケート結果を基に季節感や価格を調整し、利用者が求める商品提供を実現する

2. 弁当の販売促進による店舗の活性化

昨年度以上の販売数・売上を目指し、Cafeしえるの運営を継続的に盛り上げる

▶【実施内容】

第1回：2025年6月24日 第2回：2025年11月18日

弁当の販売個数up、販売金額upへ!!

第1回との改善点

11月前半 市場調査

アンケートを行った

フィードバック

販売内容を改善

11月18日 弁当販売

★健康志向

野菜を豊富に使ったお弁当

★季節限定

寒い時期に合わせた「温かいスープ」

★学生向け

季節感のある「手ごろな価格のスイーツ」

▶【取り組んだ成果】

01

満足度向上

02

認知拡大

03

販売数 UP 販売金額

販売数	販売金額
1回目 62個	32,800円
2回目 121個	57,150円



02

アンケートを通じて、多くの学生や教職員に本活動の内容が広く伝わり、取り組みへの理解と関心が着実に高まり、Cafeしえるの認知度向上にも寄与しました。

03

購入者ニーズを反映した取り組みにより、販売数・販売金額とともに1回目を上回る成果を上げました。購入者ニーズを捉えた施策が、数字という目に見える成果に直結したと実感しました。



④電動キックボード

射水市と太閤山リノベーション計画推進協議会が連携して近距離移動を便利にし、公共交通を補うことを目的に導入した電動キックボードのシェアサービスの実証実験に参加しました。COCOSでは車を所持していない大学生などに向けて、SNSでの発信や講習会を行い、電動キックボードの安全で快適な利用に貢献しました。

▶【活動目的】

認知拡大

大学生をターゲットにSNSを通して、電動キックボードの便利さなどを伝える

安全な街づくり

講習会を通じて、正しい交通ルールを地域に定着させる

▶【実施内容】

SNS広報・アンケート実施

学内での電動キックボードに対するニーズ調査

大学内の安全講習会の開催

警察・太閤山リノベーション計画推進協議会が連携して、事故ゼロのための啓発活動を実施!!

▶【取り組んだ成果】

01

無事故・無違反

02

認知拡大

03

利用促進

丁寧な安全啓発と地域に寄り添った広報活動をすることで、電動キックボードによる事故が0件でした。

02

利用者の62%が10~20代で、県立大学付近での利用が特に多いと推察されます。県立大学での安全講習会が大きく影響しました。

03

広報活動によって認知拡大され目標利用300回を大きく上回る597回の利用がありました。



⑤クリスマスイベント

クリスマスイベントは、「子ども子育て応援マルシェ」の一環として実施され、NPO法人リボンfrom富山と富山短期大学幼稚教育学科2年生が共同で企画・運営しているイベントです。地域の親子が安心して楽しめる場をつくることを目的としており、今回はそのイベントにブースを出展し、親子が気軽に参加できる体験コーナーを提供しました。

▶【活動目的】

思い出づくり

子供たちへ創作体験と季節の思い出や親子で一緒に楽しめる場の提供

地域の人との交流

地域住民との交流

▶【実施内容】

12月20日

手作りスノードーム体験

スノードームの作り方の説明

世界にひとつだけのスノードーム作成をサポート

▶【取り組んだ成果】

01

思い出づくり

02

居場所づくり

03

親子交流

地域の子どもたちに創作の楽しさを届け、思い出づくりにつながる取り組みとなりました。

02

安心して過ごせるよう寄り添って支援し、自然な交流が生まれる環境を整えました。会場にはあたたかな雰囲気が広がり、心地よい居場所が生まれました。

03

幼児から小学生までの親子60名が参加し、会場は笑顔に包まれた交流の場となりました。

